



2022年7月19日

株式会社 阿波銀行

濱醤油醸造場株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、濱醤油醸造場株式会社（代表取締役 濱 晃博、本社：徳島県小松島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	濱醤油醸造場株式会社
所在地	徳島県小松島市立江町字若松 34 番地
代表者	濱 晃博
業種	醤油・味噌・調味料製造業
設立	2010年1月5日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年7月19日



濱醤油醸造場株式会社 代表取締役 濱 晃博

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境	廃棄物の削減	未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。	①醤油の絞りカスの有効活用（土壌リサイクル・アップサイクル）		
			②（土壌リサイクルや養鶏飼料等へ活用）を現状の100%→90%（人の食に係るアップサイクルへの活用）を現状の0%→10%		
社会・経済	教育への貢献	自社のリソースを最大限活用し、地域の教育に貢献する活動を行います。	①みそ作り体験や塩こうじなどの利用方法、発酵食品（みそ・醤油・こうじ）を持つ体への影響の学習会などを企画・運営		
			②みそ作りなどの体験学習等を年間18回以上実施		
環境・経済	地産地消の推進	地域産の材料、食品、製品などの地域資源を積極的に活用し、地産地消外商を推進します。	①(1)市内米（原材料）の購入 (2)徳島県産材料（米麦）における農産漁村発イノベーション		
			②(1)100%を維持し続ける (2)県内購入率2025年までに10%UP		
社会・経済	地元人材の活用	雇用を通じた地域振興のため様々な地元人材の活用を推進します。	②(1)U・Iターン人材採用を行政連携 (2)障がい者人材活用 (3)教育機関からインターンシップ受入		
			①(1)2027年までに2名採用 (2)2023年までに1名採用 (3)年間1名受入		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。